



国民春闘共闘

第18号

2021年3月15日

国民春闘共闘委員会

〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館
☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

生活改善につながる大幅賃上げ・底上げを！

3.11 統一行動

職場・地域でスト、デモなど

昨年を上回る回答を引き出した力を教訓に上積みめざそう

国民春闘共闘委員会・全労連は、3月11日のストライキを含む全国統一行動を実施し、少なくとも5万人を超える組合員が結集しました。3月10日の集中回答日に行った第1次賃上げ集計では、加盟組織の奮闘により有額回答を引き出しています(既報・第17号)。労働組合の交渉力を発揮し、大いに奮闘した結果ですが、生活改善にはほど遠い不十分な回答内容です。黒澤幸一事務局長は談話で、「昨年を上回る回答を引き出した力を教訓に上積みめざそう」と呼びかけています。3～4月を回答引上げ期として、職場と地域一体で粘り強くたたかいを進めましょう！

JMITU 東京南部リレースト

在宅勤務で負担増 絶対に引けない！

JMITU東京南部地協は、リレーストライキ、夕方は蒲田駅で大宣伝行動と終日行動を行いました。

スタートは日本IBMのストライキ。日本IBMは9割が在宅勤務で、札幌から沖縄までいる組合員は9時30分から社前行動の中継を見ながらストライキに参加しました。

日本アイ・ビー・エム支部の大岡委員長は「10日の団交では在宅勤務手当の要求に、会社は『検討中である』

とした。在宅勤務の長期化に伴い、自宅水道光熱費の増加が顕著となっているが、会社は月々の在宅勤務手当を支給していない。絶対に引くことはできない。再雇用者は賞与・手当無し、月17万円で年収204万円と最賃で働かせている。賃金差別として裁判をたたかっている。パワハラ降格裁判は和解解決した。労働者



が安心して働ける環境をつくっていく」と訴えました。

国民春闘共闘の小畑代表幹事（全労連議長）は、「3.11 ストライキを含む統一行動を賃上げの流れを職場・地域から作り出す1日としていきましょう」と連帯あいさつ。「政府と財界は、コロナ禍を自己責任で働かせる好機、つまり労働時間管理責任のあいまい化や労働者の請負委託化の好機と受け止めている」と警鐘をならし、「コロナ禍だからとあきらめるのではなく、コロナ禍だからこそ、労働組合に結集をし、変える取り組みをすすめていきましょう」と呼びかけました。

JMITU 東京北部リレースト 労働者の生活を守る企業責任を果たせ！



JMITU 東京北部地協は加盟する支部・分会でリレーストを展開。3 職場で約 60 人がストライキに立ち上がりました。JMITU 東京北部地協、板橋と入間の両地区労連が支援に駆け付け、全労連からは衛藤浩司常任幹事と井之上事務局員が参加しました。

東洋精機製作所支部（写真上）の白川委員長は、「コロナで残業もできない中で我々は 107%の利益をだした。それにも関わらずベアは 1.7%、夏季一時金は前年比 24 万円減という回答。この怒りを春闘でぶつけよう」と呼びかけました。

一人組合員の大陽ステンレス分会の組合員は支援を受け「JMITU があったから自分はここまでやってこれた。みんなで動くことが自分を守ることだと確信した。低額回答だったが、5 桁と諸手当の改善を勝ちとるまであきらめず頑張りたい」と決意表明。

鈴木シャッター支部（写真下）では、委員長をはじめ 6 人が決意表明。「会社も苦しいが労働者の生活はもっと苦しい。」「会社

にある内部留保を活用せよ」、「労働者が安心して働ける職場だからこそ、その企業は伸びる。労働者の生活を守る企業責任を追及していく」と力強く、決意に満ちた集会となりました。

各所で全労連の衛藤常幹が激励と連帯あいさつ（写真下）。「企業の営業と労働者のくらしが苦しいのはコロナだからと言われるが、実際はこれまでの悪政によるもの。コロナだからと諦めず、『コロナだからこそ大幅賃上げ』の声を広げよう」と訴え、「21 春闘で大幅賃上げと要求実現に向けて闘う決意だ」と激励しました。



JMITU 東京西部リレースト 一時帰休の組合員も Zoom、一言メッセで参加

JMITU 西部地協は 12 支部・分会で門前一斉宣伝、リレースト、立川駅での宣伝行動、他組合のスト支援など終日行動を行いました。

超音波工業支部は 11 日、初回回答 4880 円という期待外れの低額回答に対し、ストライキを決行。感染症対策のため、6 班を 2 つに分けて 1 時間ずつのストライキ集会を社内の食堂で行いました。一時帰休の組合員が Zoom で参加、ひと言メッセージをグーグルフォームで集めるなど工夫していました。



超音波工業支部の高澤新吾委員長が「アンケートでは 8 割以上が生活悪化を回答。団体交渉後の組合員集会では一時金に上下があったとしても基本給が一切年齢格差に満たないものではだめ」と満場一致でストライキ決行を決めたと報告。回答確約交渉では「コロナ禍だからこそ労働者に安心して働いてもらいたいというメッセージを出すべき」と経営に迫ってきた。3 月 17 日には第 2 回交渉、18 日 13 時 30 分から半日ストライキ、残業拒否で 24 時までのストライキを配置。ここでまとまらなければ無期限残業拒否を行う。

リレーストの支援者が激励あいさつをしました。JMITU 東京地本の野中祐一書記長は、「昨日の統一回答指定日には 27 職場で有額回答、一人当たり 6095 円、昨年同期から 370 円下がっている。昨年の妥結を上回る回答は 8.7%、同額が 17.4%、若干下回ったのが 52.2%、大きく下回ったのが 21.7%。超音波は昨年からの落ち込みが一番激しい。この間の受注増で、受注残が来期目標の 3 分の 1 を確保しており展望はある。賃金は一時金とは違い、退職金などすべてにはね返り、一度下げられた給料はずっと影響する。単なる業績の押しつけでなく、来期労使で頑張れるよう納得できる解決を目指してほしい」と励ましました。

三多摩春闘共闘の菅原一茂幹事（都教組）は、「公務員の賃金は民間との比較で決められており、皆さんのたたかいは全国の多くの労働者の賃金の指標、日本全体を動かす大きな力だ。ストライキを背景に奮闘してほしい」と激励しました。立川労連の日下努事務局長は、「『何とかしたい』思いを束ねて声を上げ会社や行政に対応を求めよう」と呼びかけました

全労連の清岡弘一副議長は、「雇用、くらしが大変な状況だが、労働組合が声を上げて雇調金の特例延長などを勝ち取ってきた。大企業は内部留保を 10 兆円も積み上げており、賃上げと下請け単価に回させることが必要だ。コロナ禍だからこそ生活に基づく要求とその実現にとことんこだわり取り組んでほしい」と呼びかけました。

建交労 京王新労組 ストライキ 公共交通はエッセンシャルワーク 誠意ある回答を！

建交労・京王新労組は 11 日 10 時から 11 時まで京王電鉄本社前（聖蹟桜ヶ丘）でストライキ集会を実施。12 人がストライキに突入し、支援行動には公務の仲間も含め 40 人近くが参加しました。京王新労組の佐々木委員長は、「47 の子会社をもつ京王電鉄グループは 2600 億円もの内部留保がある。こういう時こそ



社会的責任を果たすべき」と利益を上げながら誠意ある回答を示さない会社に怒りを表明するとともに、声をあげて世の中を変えていこうと呼びかけました。

建交労本部の廣瀬書記長は「首都東京の交通機関としての都民の交通の安全を守れ」、京王新労組の遠藤書記長は「2回の交渉に誠意ある回答はなくストライキ突入した。数々の労働争議の早期解決も求める」と述べました。

全労連の布施事務局次長が連帯あいさつで、21春闘の構えを紹介するとともに「公共交通を担う労働者も感染リスクを背負うエッセンシャルワーカーだ。コロナ禍で明らかになった格差を是正しよう」と呼びかけました。東京春闘共闘の井澤副代表、国公労連・国土交通労組、三多摩労連、支援共闘会議のみなさんからも激励あいさつが続きました。

最後に当該の藤山書記長は、「京王バスは残業や体調不良勤務で、過労死競争させる成果主義を押しつけている。会社の不誠実を正していく」と決意を語りました。

うたごえの大熊さんのギター伴奏でガンバロウを合唱し、多摩川太鼓のバチさばきで21春闘勝利に向けて決意を固めあいました。

**格差なくし、8時間働けば誰もが人間らしくらせる
公正な社会へ転換せまる21国民春闘**